



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和7年10月6日
都市局公園緑地・景観課
住宅局市街地建築課

令和7年度「都市景観大賞」各賞の選定 ～良好な都市景観を生み出す優れた地区や活動について表彰～

「都市景観の日」実行委員会は、より良い地域の景観形成を目指すための普及啓発の一環として、地域の活性化につながる取組の契機となるよう、平成3年度より、優れた都市景観を形成している地区や地域の景観に関する活動を都市景観大賞として表彰しています。

今般、応募された地区等について、都市景観大賞審査委員会にて審査をした結果、都市空間部門で4地区（大賞1地区、特別賞1地区、優秀賞2地区）、景観まちづくり活動・教育部門で4活動（大賞1活動、特別賞3活動）が選定されました。（詳細は別添参照）

【大賞（国土交通大臣賞）】

○ 都市空間部門

「虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区」（東京都港区）



自然光が地下へそそぐ3層吹き抜け



緑あふれる歩行者デッキ

○ 景観まちづくり活動・教育部門

「未来へつなぐ棚田の保全活動と交流による地域活性化」（群馬県沼田市）



耕作放棄から復活した石墨棚田



カワニナをビオトープに放流する様子

【問い合わせ先】

都市局公園緑地・景観課 秋葉、吉田（内線 32982、32985）

TEL：（代表）03-5253-8111、（直通）03-5253-8954

住宅局市街地建築課 小富士、浦住（内線 39602、39635）

TEL：（代表）03-5253-8111、（直通）03-5253-8515

都市景観大賞特別賞の受賞について

都市空間部門 受賞地区一覧

大賞 国土交通大臣賞

地区名	地区面積	応募者
虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区 (東京都 港区)	約13.2ha	・森ビル株式会社 ・東京都 ・港区芝地区総合支所 ・独立行政法人都市再生機構 ・国土交通省東京国道事務所 ・東京地下鉄株式会社 ・一般社団法人新虎通りエリアマネジメント ・新虎通りエリアプラットフォーム協議会 ・株式会社日本設計 ・株式会社入江三宅設計事務所 ・株式会社竹中工務店 ・株式会社久米設計

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞※

地区名	地区面積	応募者
洗足池周辺地区 (東京都 大田区)	約31.2ha	・大田区 ・大田区教育委員会 ・公益社団法人洗足風致協会 ・名勝洗足池公園保存活用連絡協議会 ・千束八幡神社 ・妙福寺 ・大田区立大森第六中学校

優秀賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

地区名	地区面積	応募者
茨木市おにクル周辺地区 (大阪府 茨木市)	約2.9ha	・茨木市 ・株式会社 伊東豊雄建築設計事務所 ・株式会社 竹中工務店 ・株式会社 地域計画建築研究所 ・株式会社 studio-L ・株式会社 ヘッズ
ハレまち通り・下石井公園周辺地区 (岡山県 岡山市)	約11.8ha	・岡山市 ・ハレマ協議会 ・下石井公園管理運営・実証実験共同事業体 ・一般社団法人ぷらっと西川 ・有限会社ティーハウス

※同賞の地区が複数ある場合には、総務省全国地方公共団体コード順に掲載しています。
※特別賞の扱いについては、陣内審査委員長の総評(P.3)をお読みください。

総評

審査委員長 陣内 秀信

今年度は応募の数は9地区と少なかったが、地理的には北は青森県から南は熊本県まで、全国各地からの応募があった。景観形成のタイプとしても、大都市における大規模再開発や盛り場の真ん中での建替え・再開発、それとは対極的な貴重な自然・歴史・風土を守り受け継ぐ池を中心とする公園の景観づくりがある一方、地方中核都市における都心の既存空間の再生や改造、大自然を背景とする小さな駅とその周辺の景観設計、伝統的町並みの内部における古い施設を活かした街路沿いの景観づくりなど、我が国における景観への取り組みが多岐にわたって興味深い成果を生んでいることを物語っていた。

一次審査で選ばれた5地区に関し現地審査が実施された。今年は、より多視点からの評価を得るため、2名の審査委員が訪ねた地区も複数ある。現地審査の報告をもとに二次審査が行われ、先ずはより優れた4地区を表彰の対象として選び、大賞を決定すべく慎重な検討・議論がなされた。

その中で、同じ東京を舞台としながら、好対照の性格をもつ「虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区」と「洗足池周辺地区」の2地区が突出して高い評価を得た。どちらも景観づくりの目指す目標を、異なる領域において高い次元で実現した傑出した成果だけに、一つに絞るのに忍びなさも感じられたが、過去に応募のあった数多くの大都市における大規模再開発と比較しても群を抜いた質の高さを誇る「虎ノ門ヒルズ・新虎通り地区」こそ、今年度の大賞にふさわしいとの結論に至った。このエリアの再生に向けての明確なビジョンを掲げ、長い時間を掛け、幹線道路および地下鉄という都市インフラをダイナミックな方法で結合を図りつつ、多様な機能が複合した空間の集積を実現させ、デッキレベルに開放感溢れる人気の緑地を生むなど、全体としても魅力的な環境および景観を東京の都心に創造したこの一連の事業には、普段、大規模再開発で生まれる景観には厳しい目を向けがちな本審査委員会においても、全会一致で大きな賛辞が送られた。

一方、東京の中の最大のおアシスともいふべき「洗足池周辺地区」は、江戸以来の景勝地を地元の人々が守り抜き、その優れた自然、歴史資産を奇跡的に今に受け継いだ特別な価値を有する場所である。従来、あまり応募がなかったこうしたランドスケープの領域の成果は、今後の日本の景観づくりの中でますます重要性を増すものであり、そのモデル的な取り組みを示す「洗足池周辺地区」には、大賞にも匹敵する重みをもつ「特別賞」を授与することとした。

優秀賞に選ばれた「茨木市おにクル周辺地区」と「ハレまち通り・下石井公園周辺地区」は、いずれも都市の中心市街地の既存の空間、場所を再構成し魅力的に甦らせるという、我が国で最も求められる都市の重要課題に対して優れた解答を与えた価値ある成果である。これまでの幾つかの段階の街づくりの成果を重ね、連携させ、新たに登場したシンボルとしての公共的な文化複合施設、あるいは民間の複合商業施設が市民の居場所となる開かれた公園、緑のプロムナードなどと一体的に繋がって、全体により楽しさを増し回遊性を生んだ点でも共通している。こうした都市の文脈を生かした景観づくりの成果が全国に広がることを期待したい。

特別賞 「都市景観の日」実行委員会 会長賞

洗足池周辺地区

所在地 東京都大田区

地区面積 約31.2ha

応募者 大田区、大田区教育委員会、公益社団法人洗足風致協会、名勝洗足池公園保存活用連絡協議会、千束八幡神社、妙福寺、大田区立大森第六中学校

地区概要

当地区は、日蓮や勝海舟といった歴史上の人物と繋がりが深く、歌川広重や川瀬巴水が描き留めた場所であり、江戸時代には近郊における景勝地として、大正・昭和初期には多様な遊興施設を備えた行楽地として多くの人に親しまれてきた。昭和5年（1930）の風致地区指定以来、東京都や大田区、（公社）洗足風致協会等による風致の保全や育成に取り組んできた。しかし、規制緩和に伴う土地の高度利用により、街における緑空間の減少など徐々に住環境が損なわれていた。

この課題に対し、大田区は平成17年（2005）に「地区計画」、平成30年（2018）に「景観形成重点地区」を定め、重層的な土地利用規制を設定することにより、洗足池公園を中心とした潤いのある自然環境や豊かな歴史的資源、低層住宅の街並みが調和した景観づくりを推進している。官民が一体となり、景観づくりを進めた結果、当地区の景観上の中心である洗足池公園は大田区内初となる東京都名勝に指定された。また、令和7年（2025）には洗足池公園開園60周年記念式典が実施され、さらなるシビックプライドの醸成がなされた。「洗足池」の美しく貴重な景観は、江戸時代から現代、そして次世代へと着実に受け継がれている。

審査講評

洗足池は、大田区に所在する湧水池であり、その歴史は古く、『名所江戸百景』等にも描かれ昔から景勝地として愛されている。池としての景観の価値は、周囲に高層建築物や屋外広告物が見えず、遠く富士山や丹沢山系まで見通せ、都心部とは思えない稀有な風景を醸し出していることにある。対象地は、昭和5年に池と周囲の緑の多い戸建て住宅地を含むエリアとして風致地区指定を受け、昭和8年には、地元の名望家によって洗足風致協会が設立され、その活動は、現在まで積極的に実施されており、池や公園の美観の維持やイベント開催等多岐にわたっている。池の周囲の住宅地は、平成17年に策定された地区計画や景観形成重点地区により、建築物の高さ制限や建ぺい率、色彩等の制限が行われ、公園側にテラスやバルコニーを設けるなど圧迫感の軽減を図ることを指導されており、住宅地としての価値をも高めている。

また、水質浄化施設や約1,000もの浸透枡が設置され、その水質は東京区部の同規模の池においてトップクラスにあり、池の価値を一層高めている。長い歴史をかけて、積極的に景観を守ってきた風致協会を始めとする関係団体の活動と、建築誘導を積極的に実施してきた区との連携を評価し、大賞に準ずる特別賞とした。（池邊）



洗足池周辺地区の上空写真。（令和元年度撮影）
写真左：中原街道、写真中央：洗足池と周辺の住宅地が隣接。



春の洗足池公園。ボート遊びや花見による賑わいのある景観となっている。



自然観察や野鳥観察等、多くの利用者に自然とのふれあいの場を提供している水生植物園。



量感のある緑がスカイラインを形成、緑に包まれた自然豊かな景観となっている。晴れた日には富士山が見通せる。（勝海舟記念館屋上より撮影）